

リオン株式会社

2018年3月期第3四半期 決算ダイジェスト

東証一部 証券コード：6823

【免責事項】本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

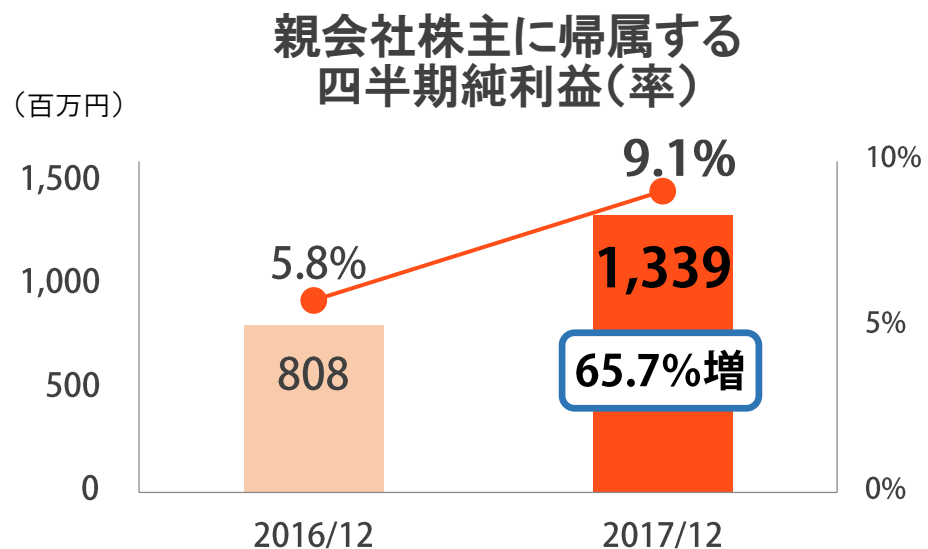
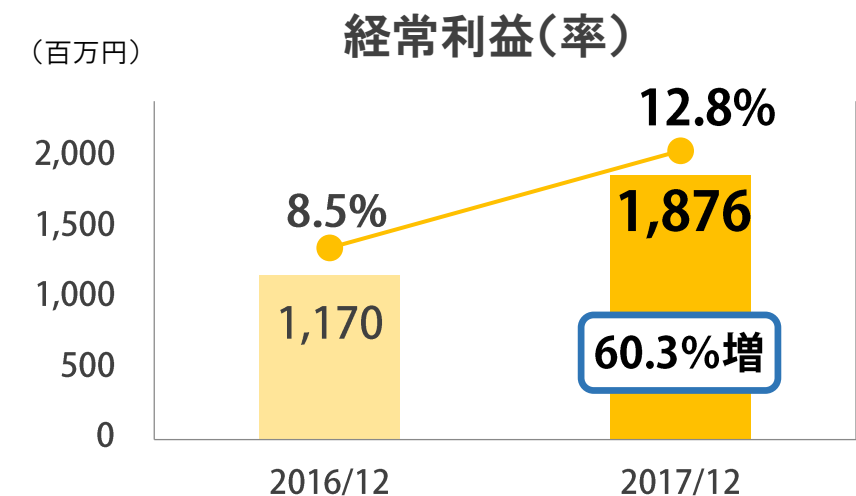
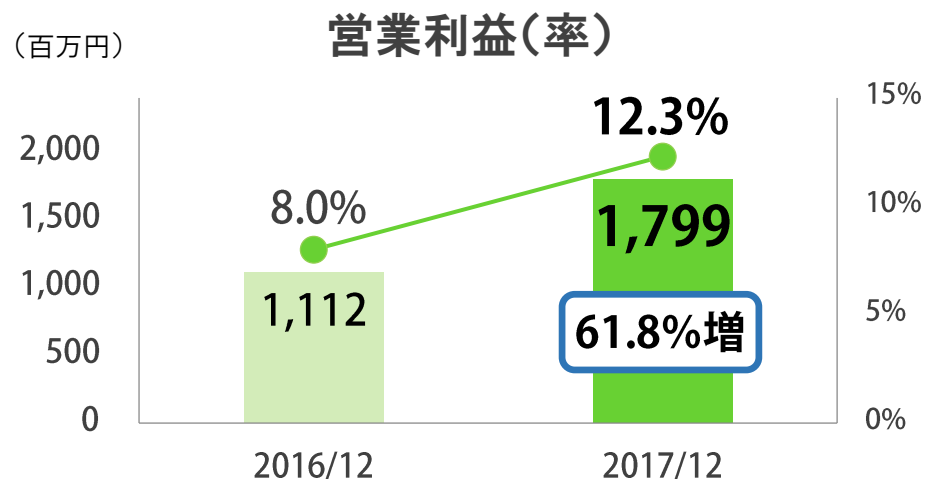
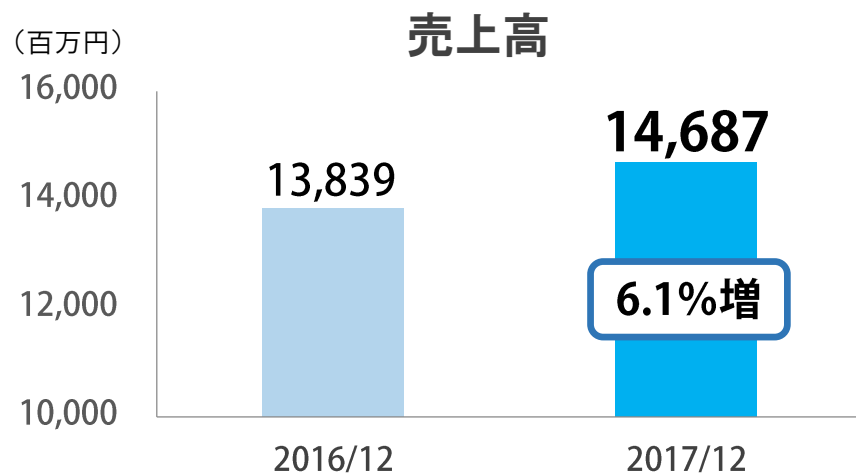
前年同期比で増収増益を達成

- 医療機器事業が増収増益に転じる
- 環境機器事業は引き続き好調

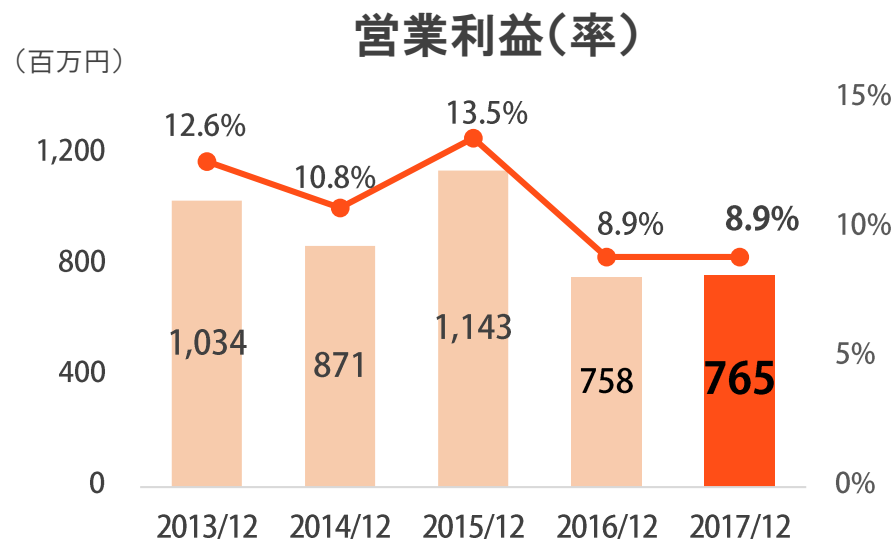
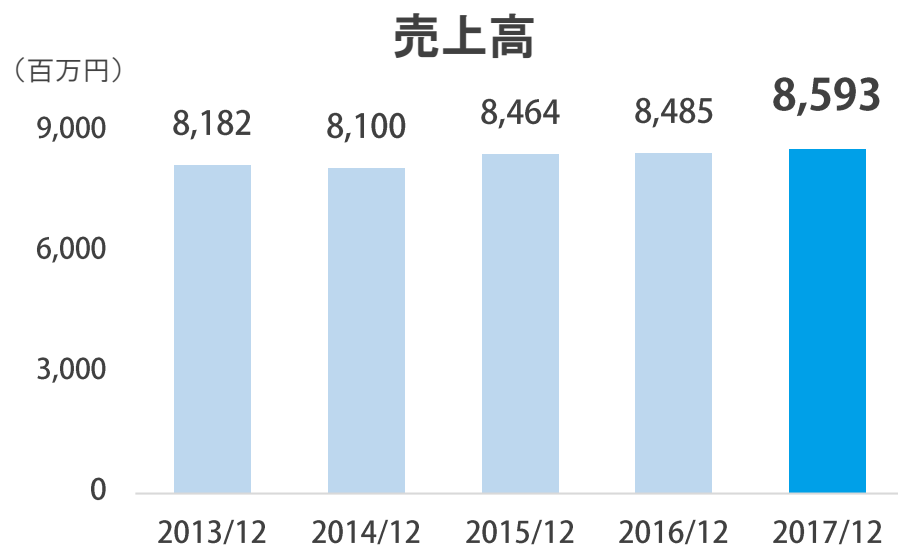
期末配当の増配を発表

- 配当予想を5円上方修正し、年間35円/株に
- 引き続き両事業で好調な売り上げを見込む

決算ハイライト (連結)

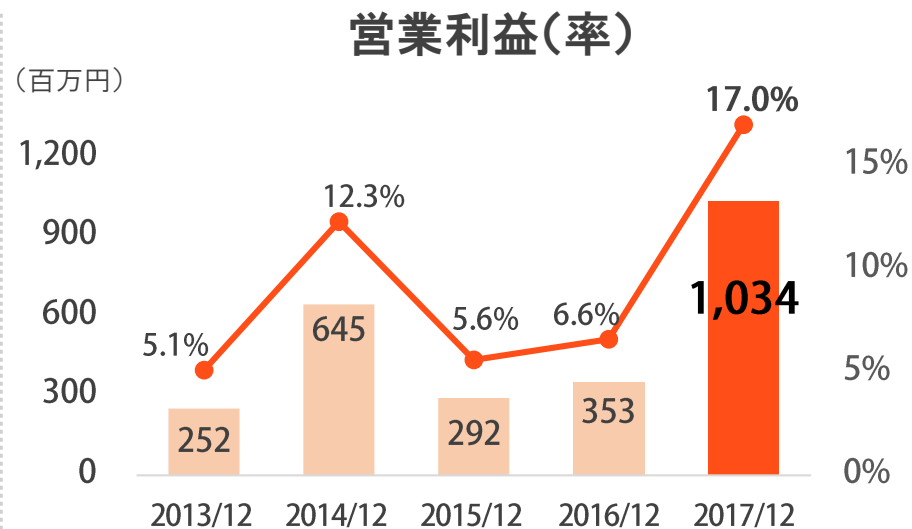
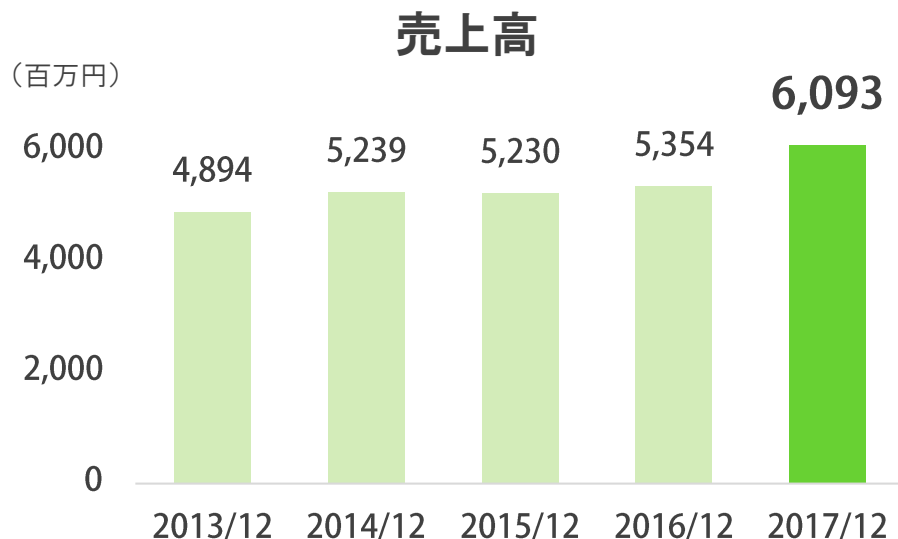


上期までの落ち込みをカバーし、増収増益に転じる



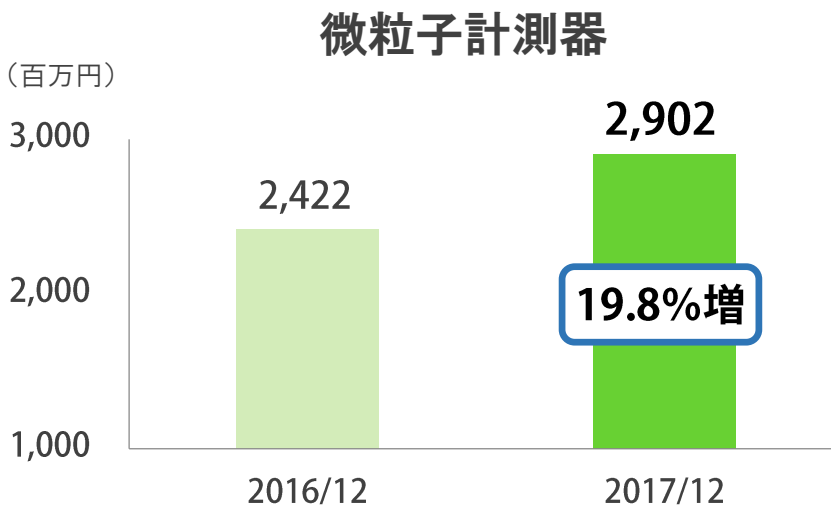
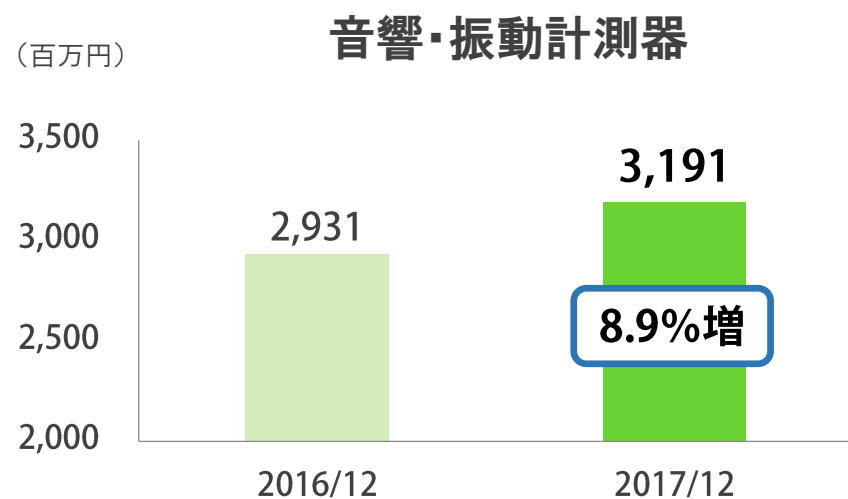
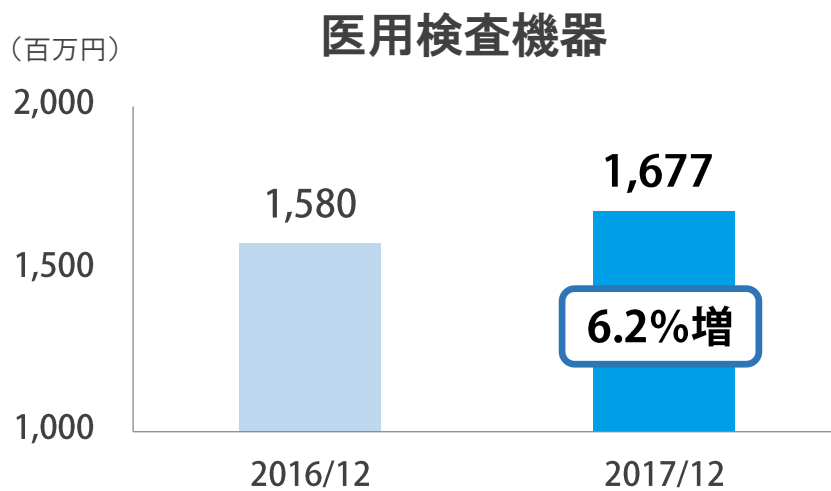
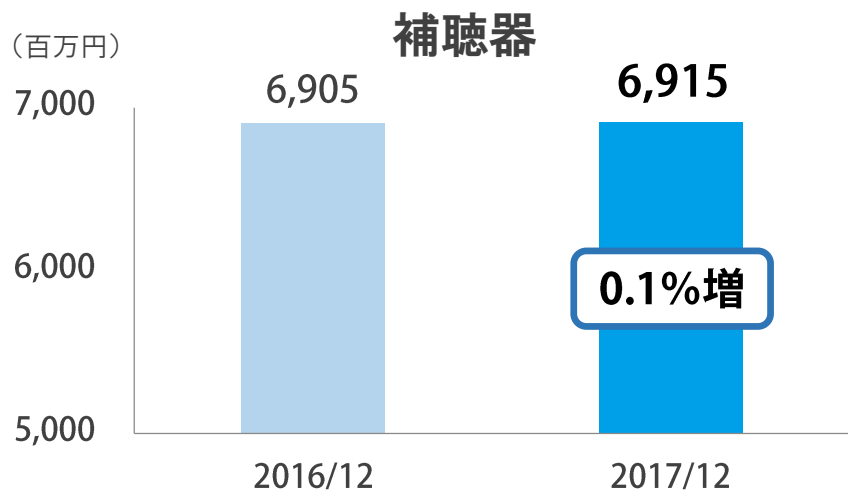
- 補聴器は8月下旬に発売した高価格帯製品が第2四半期までの落ち込みをカバーし、売上高は前年同期を上回る。
- 医用検査機器は大型の聴力検査室が好調な販売となったことなどから増収に。

大幅な増収増益を達成

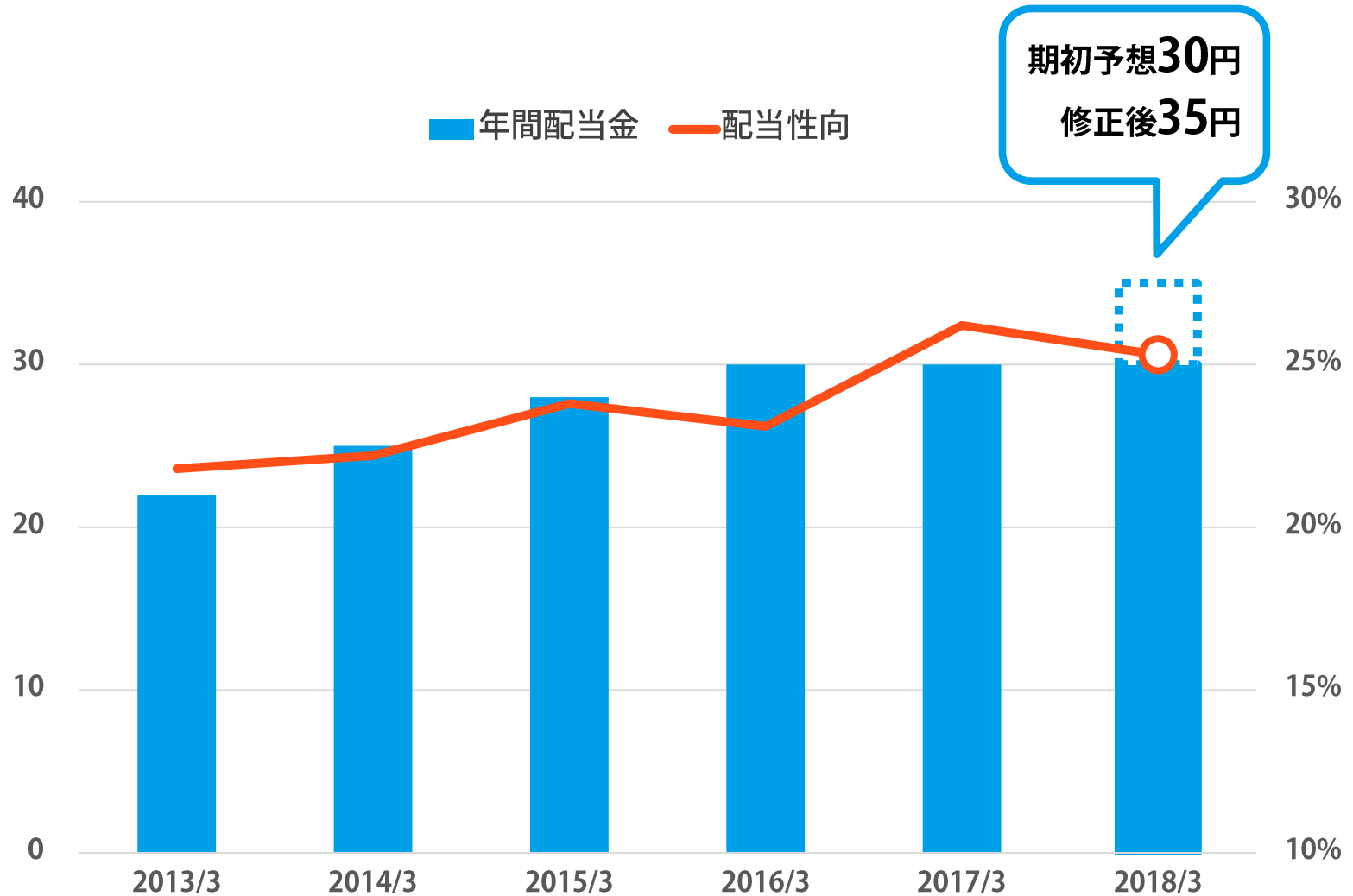


- 音響・振動計測器は建設工事が活況だったことで騒音計・振動計の販売が好調であったほか、自動車産業等における受注が堅調で増収となる。
- 微粒子計測器は気中微粒子計の販売が堅調に推移したことに加え、半導体関連市場での液中微粒子計の販売が依然として好調であり、売上高は前年同期を大幅に上回る。

製品群別の売上高の推移



配当予想を上方修正



※2018年3月期の配当性向は親会社株主に帰属する当期純利益の期初予想を基に計算

-
- 10月2日 [ホーチミン市立耳鼻咽喉科病院と覚書を締結](#)
-
- 10月4日 [新製品「リオネットシリーズ」の耳かけ型補聴器が
2017年度グッドデザイン賞を受賞](#)
-
- 10月11日 [航空機騒音観測システム「NA-39A」を新発売](#)
-
- 10月12日 [補聴器用電池と互換性のある充電池による世界初の
「補聴器用ワイヤレス充電システム」を日東電工\(株\)と共同開発](#)
-
- 10月26日 [世界初の軟骨伝導補聴器を発売](#)
-
- 11月16日 [2018年3月期第2四半期決算説明会を開催](#)
-
- 11月29日 [2017年「心に残った音」を発表](#)
-

※ 下線はURLリンクが付いています。

12月5日 [眼球運動検査装置「vHIT ICS Impulse」を発売](#)

2018年
1月30日 [配当予想の修正\(増配\)に関するお知らせ](#)

1月30日 [株主優待制度の拡充に関するお知らせ](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。